

令和2年度 外観検査不適内容(上位項目)

(1) 7条検査における指摘が多い上位4項目(重複あり)

不適項目	指摘数	CODE
① 流入管きよ及び放流管きよの接続	4	26・27
② 消毒剤の有無	4	73
③ 接触材・ろ材の固定	1	14
④ 処理水と消毒剤の接触の有無	1	74

注) 上記表は外観検査における不適の項目を重複で整理したものであり、「令和2年度浄化槽法定検査実施状況(7条)」の総括説明における不適正の判定理由とは一致しない。

(2) 11条検査における指摘が多い上位10項目(重複あり)

不適項目	指摘数	CODE
① 汚泥の堆積及びスカムの発生	630	58～62・66
② 消毒の実施状況	425	73～74
③ 各単位装置内の水位及び水流	356	45～55
④ ポンプ、送風機の稼働状況	282	29～30
⑤ 内部設備の固定状況	256	12～24
⑥ 漏水	146	4
⑦ 設置に係わる状況(流入管きよ・放流管きよ・送風機)	84	26～27・32
⑧ 浄化槽上部の状況(嵩上げ、マンホール蓋の破損等)	56	8
⑨ 流入管・放流管きよの水の流れ方	34	43～44
⑩ ばっ気装置の稼働状況	26	32

注) 上記表は外観検査における不適の項目を重複で整理したものであり、「令和2年度浄化槽法定検査実施状況(11条)」の総括説明における不適正の判定理由とは一致しない。